

# 今回ご協力いただいたアスリートの皆さん

IBDを有するさまざまな競技のアスリートの皆さんに  
「IBDreamめし」開発にむけたヒアリングにご協力いただきました



サッカー  
ヴィアティン三重  
上田 駿斗 氏



サッカー  
梶原 夕希也 氏



バスケットボール  
琉球ゴールデンキングス  
岸本 隆一 氏



バスケットボール  
原 修太 氏



ボクシング  
花形ボクシングジム  
木村 翔 氏



ボクシング  
元花形ボクシングジム  
齊藤 裕太 氏



総合格闘技  
征矢 貴 氏



ラグビー  
加藤 広人 氏



陸上  
順天堂大学  
西沢 侑真 氏



野球  
中日ドラゴンズ  
田中 幹也 氏

# 今回ご協力いただいたアスリートの皆さん



## 【サッカー】上田 駿斗 氏（ヴィアティン三重）

- 2014年から、プロサッカーチームのU-18メンバーとして活躍。2017年、大学1年生の夏に血便が出たことをきっかけに潰瘍性大腸炎の診断を受ける。入院してサッカーができない期間もあったが、復帰後の努力が実り、2021年にプロ契約。現在、ヴィアティン三重に所属し、現役で活躍している。



## 【サッカー】梶原 夕希也 氏

- 2012年からプロサッカーチームU-18メンバーとして活躍し、2015年にプロ契約。翌2016年に潰瘍性大腸炎と診断され、2018年に現役引退。引退後、現在はプロサッカーチームのサッカースクールのコーチに就任し、選手育成にあたっている。

# 今回ご協力いただいたアスリートの皆さん



## 【バスケ】岸本 隆一 氏（琉球ゴールデンキングス）

- 2013年1月に琉球ゴールデンキングスに入団。2013-14年シーズンに新人賞を受賞し、翌2015-16年にはチームキャプテンに就任。2019年に、1ヶ月近く下痢と血便、微熱が続いたことがきっかけで潰瘍性大腸炎と診断。現在は寛解を維持し、同チームで活躍している。



## 【バスケ】原 修太 氏

- 2015年にプロバスケットボールチームへ加入。2018年、シーズンオフの8月下旬に体調が悪くなり、そのまま入院。潰瘍性大腸炎と診断される。現在は寛解し、現役で活躍している。

# 今回ご協力いただいたアスリートの皆さん



## 【ボクシング】木村 翔 氏（花形ボクシングジム）

- 高校1年生の時（2002年）に潰瘍性大腸炎と診断。2013年にプロデビュー。2016年には再燃を経験するも、同年にWBOフライ級王座、翌2017年にWBO世界フライ級王座を獲得。現在も現役で活躍中。



## 【ボクシング】齊藤 裕太 氏（元花形ボクシングジム）

- 2010年にプロデビュー。2018年、日本バンダム級王座決定戦で王座獲得。その直後から血便が出始め、潰瘍性大腸炎と診断。引退後、現在は柔道整復師を目指している。

# 今回ご協力いただいたアスリートの皆さん



## 【総合格闘技】 征矢 貴 氏

- 2012年のプロデビュー前から痔瘻の切開手術を受ける。当時からクローン病を疑われていたが、22歳の頃に、トイレの回数が徐々に増え、痔瘻のような症状が出始めたことをきっかけに、再度検査したところクローン病と診断。現在は、チャンピオンベルトを目指し競技に励んでいる。



## 【ラグビー】 加藤 広人 氏

- 大学卒業後、2018年にプロラグビーチームに加入。2020年、コロナ禍でリーグが打ち切りとなった後、トイレの回数が増えたことをきっかけに、潰瘍性大腸炎の診断に至る。退院後は、復帰にむけて大幅に落ちた体重をある程度まで戻したものの、症状が再燃。2021年に引退し、現在は、社業に専念している。

# 今回ご協力いただいたアスリートの皆さん



## 【陸上（長距離）】西澤 侑真 氏（順天堂大学）

- 2019年、順天堂大学1年生の時に、全日本大学駅伝で大学三大駅伝デビュー。2年生の秋から血便が続き、3年生の夏に潰瘍性大腸炎と診断された。箱根駅伝には1年生から4年連続で出場。2023年にキャプテンとして出場した箱根駅伝では、区間歴代3位の走りで、10区の区間賞を獲得。



## 【野球】田中 幹也 氏（中日ドラゴンズ）

- 2019年、亜細亜大1年生時に侍ジャパン大学日本代表で日米大学選手権優勝。3年生の春のリーグ戦でベストナイン受賞。同年夏に潰瘍性大腸炎と診断され、大腸を全摘。3か月の入院とリハビリを乗り越え、4年生の春には再度ベストナインを受賞。2022年大学選手権MVP・同年にドラフト6巡目で中日ドラゴンズに入団。